

みずほCustomer Desk Report 2019/03/14 号(As of 2019/03/13)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.32
TKY 9:00AM	111.32	1.1287	125.65	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	111.47	1.1339	126.03	1.3077	0.7063
SYD-NY Low	111.01	1.1278	125.46	1.3380	0.7098
NY 5:00 PM	111.15	1.1326	125.98	1.3064	0.7050
				1.3341	0.7095
NY DOW	25,702.89	148.23	日本2年債	-0.1600	▲1.00bp
NASDAQ	7,643.41	52.37	日本10年債	-0.0500	▲1.00bp
S&P	2,810.92	19.40	米国2年債	2.4649	1.43bp
日経平均	21,290.24	▲213.45	米国5年債	2.4312	2.69bp
TOPIX	1,592.07	▲13.41	米国10年債	2.6240	2.52bp
シカゴ日経先物	21,260.00	0.00	独10年債	0.0620	0.90bp
ロンドンFT	7,159.19	8.04	英10年債	1.1960	3.50bp
DAX	11,572.41	48.24	豪10年債	1.9530	▲7.80bp
ハンセン指数	28,807.45	▲113.42	USDJPY 1M Vol	5.17	▲0.35%
上海総合	3,026.95	▲33.36	USDJPY 3M Vol	5.78	▲0.08%
NY金	1,301.10	3.00	USDJPY 6M Vol	6.55	▲0.00%
WTI	57.19	0.32	USDJPY 1M 25RR	-0.93	Yen Call Over
CRB指数	183.41	2.10	EURJPY 3M Vol	6.85	0.03%
ドルインデックス	96.55	▲0.39	EURJPY 6M Vol	7.45	0.00%

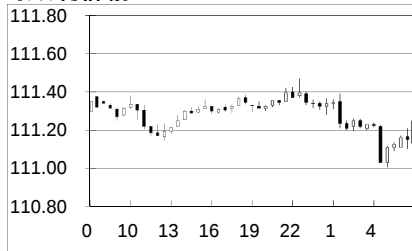
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月13日	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	2月 0.1%/1.9%	0.2%/1.9%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)	1月 0.4%	-0.4%
	23:00	米 建設支出(前月比)	1月 1.3%	0.5%

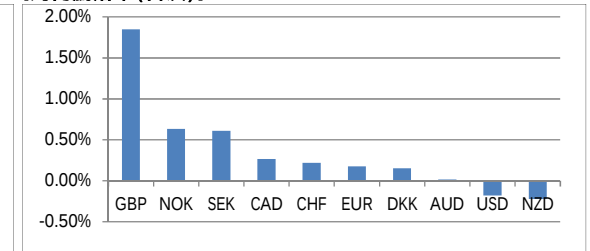
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月14日	11:00	中 小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(年初来前年比)	2月 8.2%/6.1%/5.6%	9.0%/5.9%/6.2%
	16:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	2月 0.5%/1.6%	0.5%/1.6%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 225K	223K
	23:00	米 新築住宅販売件数	2月 622K	621K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.80 - 111.80	1.1270 - 1.1380	125.50 - 127.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は下落。欧州時間を小幅な値動きで通過し、米国時間に発表された米2月PPIや米耐久財受注も強弱入り混じる結果となったことで、ドル円相場の反応は限定的となった。しかし米トランプ大統領が米大手航空会社の運行停止を命じたことでリスク選考ムードの後退や株式市場オープン後の上げ幅を縮小したことを受け、ドル円は111.01円まで下落し、111.15円でクローズした。本日再び英議会で採択を控えているもののドル円相場の反応は限定的と予想され、本日も明日開催予定の日銀金融政策決定会合や来週行われるFOMCを控えて、昨日に引き続きレンジでの推移を予想する。

東京	ドル円は111.32レベルで東京時間オープン。一時111.38まで上昇したドル円は、序盤は上値の重い展開。英国の合意なき離脱への警戒感も残ることに加え、上海株や日経平均株価が軟調となると111.15まで下落。しかしその後は株が下げ淡ったことでドル円も下げ幅を縮小し、結局111.30レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.30でオープン。手掛かり材料に乏しい中、狭いレンジで推移。111.40レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3091レベルでオープン。英政府が、合意なき離脱の場合、輸入総額の87%に対する関税を撤廃するほか、アイルランド国境では関税を適用しない旨を発表。混乱が避けられるとの思惑からポンドドルは上値を探る展開。英議会採決で合意なき離脱が拒否されるとの思惑も相場を後押し。一時1.3175まで買われ、1.3155レベルでNYに渡った。(ロンドン・フリー 00531 444 179 北原)
ニューヨーク	ドル円は111.40レベルでNYオープン。朝方は米2月PPIが予想を下回ったが、同時に発表の米1月耐久財受注がヘッドラインが予想を上回る一方、除輸送用機器が予想を下回り、強弱混在の結果にドル円の反応は限定的となる。その後は英国が2019年の成長予想を従来の1.6%から1.2%へ下方修正したことからドル買いが優勢となり、一旦111.47まで戻すものの、ノディール・ブレグジットは非の採決を前に、否決されるとの期待からポンドドルが上昇する展開やロンドンフィックス絡みのドル売りとの話により、ドル円は111.20まで反落する。その後暫くは狭いレンジでの推移が続くが、トランプ大統領が米連邦航空局(FAA)が先日の事故を受け、米航空大手の同型の機種を緊急に飛行禁止にしたことを発表し、これによる同社の損失額が巨額になるとの見方から、大幅高で推移してタガが上げ幅を縮小する展開に、ドル売り、円買いが優勢となり、111.01まで下落する。その後は株式市場が再び上昇したことから、ドル円は111.21まで戻し、111.15レベルでクロースした。一方、ノディール・ブレグジット採決を控え、海外市場のユーロドルは1.1278~1.1305での狭いレンジでの推移が続き、1.1303レベルでNYオープン。朝方は、狭いレンジでの推移が続くが、ポンドが買われる動きにユーロドルも連れて1.1315まで戻す。午後に入り、英議会で、大方の予想通りノディール・ブレグジットが否決され、翌日にブレグジット延期の採決が行われることになったことから、ポンドが上昇する動きにユーロドルも連れて1.1339まで戻し、1.1326レベルでクロースした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:牧・森谷